

## 資料4 目標達成に向けてのシナリオ

本計画においては、目標達成計画に基づく地球温暖化対策・施策等を積極的かつ確実に推進していくことを基本とする（排出部門ごとに対策・施策等の実施率を設定）とともに、県民、団体、事業者、市町村、県等のすべての主体が総力をあげて地球温暖化対策に取り組んでいくこととします。

以下では、第4章に掲げた本計画の削減目標及び削減目標を達成することにより見込まれる温室効果ガス削減量の排出部門別内訳及びその実現に向けてのシナリオを示します。

### 1. 二酸化炭素に係る削減シナリオ

二酸化炭素に係る排出部門別の目標達成に向けた削減シナリオを、以下のように設定します。

#### (1) 県民（家庭）

##### 民生部門家庭系における削減シナリオ

###### 目標達成計画による削減

目標達成計画に基づく運輸部門貨物自動車の地球温暖化対策・施策及び本県の二酸化炭素削減量は、表1のとおりです。目標達成計画に掲げられた各種対策・施策を本県において確実に実施することにより、931千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます（目標達成計画の実施率は50%を想定）。

また、電力の使用に伴う二酸化炭素排出係数の低減により、民生部門家庭系で688千t-CO<sub>2</sub>の削減が、上下水道供給で33千t-CO<sub>2</sub>の削減がそれぞれ見込まれます。

表1 目標達成計画に基づく民生部門家庭系における対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
住宅の省エネ性能の向上	民生家庭	233
HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）の普及	民生家庭	-
トップランナー基準による機器の効率向上（家庭系）	民生家庭	383
省エネ機器の買換え促進（家庭系）	民生家庭	127
エネルギー供給事業者等による消費者へのエネルギー情報の提供	民生家庭	32
高効率給湯器の普及（家庭系）	民生家庭	73
高効率照明の普及（LED照明）（家庭系）	民生家庭	45
待機時消費電力の削減	民生家庭	38
目標達成計画に基づく民生部門家庭系の二酸化炭素削減量		931

###### 目標の達成による削減

目標達成計画に盛り込まれた対策・施策に加え、民生部門家庭系の原単位による目標である1世帯当たりのエネルギー使用量（電気、ガス、灯油）を2002年から10%削減することにより、さらに597千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます。

なお、居住場所、居住形態、世帯人口、家族構成等によって様々なパターンがありますが、県内の1世帯当たりの平均的なエネルギー使用量は、電力が約4,300kWh/年（7,800円/月）、都

市ガスが約 290m<sup>3</sup>/年 (3,600 円/月)、灯油が約 150 ㍓/年 (660 円/月) 程度<sup>1</sup>となります。これらエネルギー使用量を 10%削減できると年間で約 14,600 円の節約になります。

### 運輸部門旅客自動車における削減シナリオ

#### 目標達成計画による削減

目標達成計画に基づく運輸部門旅客自動車の地球温暖化対策・施策及び本県の二酸化炭素削減量は、表 2 のとおりです。目標達成計画に掲げられた各種対策・施策を本県において確実に実施することにより、480 千 t-CO<sub>2</sub> の削減が見込まれます(目標達成計画の実施率は 50% を想定)。

表 2 目標達成計画に基づく運輸部門旅客自動車における対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
公共交通機関の利用促進	運輸自動車旅客	59
公共交通機関の利用促進 (通勤交通マネジメント)	運輸自動車旅客	15
環境に配慮した自動車使用の促進 (アイドリングストップ車導入支援)	運輸自動車	9
自動車交通需要の調整	運輸自動車	5
高度道路交通システム (ITS) の推進 (ETC)	運輸自動車	3
高度道路交通システム (ITS) の推進 (VICS)	運輸自動車	28
路上工事の縮減	運輸自動車	5
交通安全施設の整備	運輸自動車	19
テレワーク等情報通信を活用した交通代替の推進	運輸自動車旅客	55
トップランナー基準による自動車の燃費改善	運輸自動車	241
クリーンエネルギー自動車の普及促進	運輸自動車	43
目標達成計画に基づく運輸部門旅客自動車の二酸化炭素削減量		480

#### 目標の達成による削減

目標達成計画に盛り込まれた対策・施策に加え、家庭における自家用自動車の原単位による目標である 1 台当たりの燃料使用量を 2002 年から 10%削減することにより、さらに 612 千 t-CO<sub>2</sub> の削減が見込まれます。

なお、県内の自家用車 1 台当たりの平均的なガソリン使用量は、約 1,000 ㍓/年 (10,000 円/月) 程度<sup>2</sup>となります。ガソリン使用量を 10%削減できると年間で約 12,000 円の節約になります。

### ごみの排出削減による削減シナリオ

家庭における一般廃棄物の原単位による目標である 1 人当たりのごみ (一般廃棄物) 排出量を 2002 年の 1,062g/日から約 100g/日削減することにより、焼却されるごみの量も削減され、さらに 89 千 t-CO<sub>2</sub> 程度の削減 (1 世帯当たりでは約 37kg-CO<sub>2</sub>) が見込まれます。

<sup>1</sup> 削減量であることから、電気代 22 円/kWh、都市ガス代 149 円/m<sup>3</sup>、灯油代 53 円/㍓として一律に試算しており、本計画第 5 章に示した目安の金額とは若干異なる

<sup>2</sup> ガソリン代 121 円/㍓で試算

表3 県民の取組メニューによる二酸化炭素排出削減量及び節約金額の例

県民の取組メニュー		1世帯が1年間で減らせる二酸化炭素の量 (kg-CO <sub>2</sub> )	1年間で節約できる金額 (円)	1世帯が1年間で減らせる二酸化炭素の量 (合計) (kg-CO <sub>2</sub> )	1年間で節約できる金額 (合計) (円)
<b>居間・居室でのエコライフ</b>					
	不要な照明はこまめに消す	2	120	197	10,700
	テレビをつけっぱなしにしない	17	900		
	冷暖(エアコン)の設定温度を1上げる	12	670		
	暖房(エアコン)の設定温度を1下げる	21	1,170		
	冷房(エアコン)の使用時間を1日1時間短縮する	8	410		
	暖房(エアコン)の使用時間を1日1時間短縮する	16	900		
	電気カーペットの使い方を工夫する	36	1,980		
	こたつの使い方を工夫する	13	710		
	家電製品を使わない時はコンセントからプラグを抜く	68	3,670		
	部屋を片付けてから掃除機をかける	3	140		
	掃除機の集塵パックはこまめに取り替える	1	30		
<b>台所でのエコライフ</b>					
	冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けない	24	1,330	92	5,370
	電気ポットを使わない時はコンセントからプラグを抜く	44	2,360		
	火力は鍋底から火がはみ出さない程度に調節する	5	370		
	洗ものをする時の給湯器の設定温度を2下げる	19	1,310		
<b>水まわりでのエコライフ</b>					
	洗濯はまとめて洗う	2	130	153	10,480
	使い終わったら温水洗浄便座のフタを閉じる	20	1,070		
	シャワーの使用時間を1日1分短縮する	51	3,580		
	お風呂はお湯が温かいうちに続けて入る	81	5,690		
<b>外出するときのエコライフ</b>					
	自動車に乗らないで公共交通機関で移動する	144	7,310	236	12,010
	1週間に1回往復8kmの車の運転をひかえる	93	4,700		
	停車中はこまめにエンジンを切る	39	1,970	173	8,800
	空ぶかしをやめる	29	1,450		
	急発進、急加速をしない	67	3,390		
	タイヤの空気圧の調整などの点検をする	36	1,820		
	無駄な荷物を積んだまま運転しない	4	180		
	ガソリン車からハイブリッド車へ買い替える	814	41,370		
<b>買うとき、捨てる時のエコライフ</b>					
	買い物でのレジ袋は断る	58	-	389	18,130
	照明は白熱灯より蛍光灯を利用する	32	1,720		
	エアコンを省エネルギー型のものに買い替える	68	3,710		
	冷蔵庫を省エネルギー型のものに買い替える	67	3,630		
	テレビを省エネルギー型のものに買い替える	21	1,120		
	ビデオを省エネルギー型のものに買い替える	4	200		
	洗濯機を省エネルギー型のものに買い替える	7	360		
	ガスコンロを省エネルギー型のものに買い替える	26	1,400		
	給湯器を省エネルギー型のものに買い替える	107	6,000		
	ごみの排出量を削減する	40	-		
	食品トレーをリサイクルする	4	-	19	-
	空き缶はリサイクルする	6	-		
	空きピンはリサイクルする	6	-		
	ペットボトルはリサイクルする	3	-		
<b>家を建てるならエコ住宅</b>					
	家の断熱性を高める	540	9,920	540	9,920
	太陽光発電装置を設置する	1,051	71,860	1,051	71,860
	ソーラーシステム装置を設置する	381	24,540	381	24,540

## 家庭における県民の取組メニュー

家庭における原単位の目標である エネルギー使用量の 10%削減、 自家用自動車 1 台当たりの燃料使用量の 10%削減、及び 1 人当たりのごみの排出量を 1,062g/日から 956g/日へ削減を達成するために、第 5 章第 3 節に掲げた「地球温暖化対策・施策」の県民の取組の実践による年間の二酸化炭素排出削減量及びその結果節約できる金額の例は表 3 のとおりです。

### 家庭における電気使用量の削減メニュー

本計画の家庭における目標である「エネルギー使用量の 10%削減」のうち、電気使用量については年間約 430kWh の削減が目安になります。表 4 は、表 3 に示した県民の取組メニューから比較的容易に取り組むことができる電気製品の使用に関する取組をまとめ直したものであり、これらの取組を合計すると約 710kWh の削減となります。

例示した取組、削減効果等を参考として、各家庭において実行可能な取組を適切に選択し、具体的な行動に移してください。

表 4 家庭における電気使用量の削減メニュー

県民の取組メニュー	1年間の削減・節約の目安		
	電気使用量	kg-CO <sub>2</sub>	円
不要な照明はこまめに消す	5 kwh	2	120
テレビをつけっぱなしにしない	41 kwh	17	900
冷暖(エアコン)の設定温度を1 上げる	30 kwh	12	670
暖房(エアコン)の設定温度を1 下げる	53 kwh	21	1,170
冷房(エアコン)の使用時間を1日1時間短縮する	19 kwh	8	410
暖房(エアコン)の使用時間を1日1時間短縮する	41 kwh	16	900
電気カーベットの使い方を工夫する	90 kwh	36	1,980
こたつの使い方を工夫する	32 kwh	13	710
家電製品を使わない時はコンセントからプラグを抜く	167 kwh	68	3,670
部屋を片付けてから掃除機をかける	6 kwh	3	140
掃除機の集塵パックはこまめに取り替える	2 kwh	1	30
冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けない	60 kwh	24	1,330
電気ポットを使わない時はコンセントからプラグを抜く	107 kwh	44	2,360
洗濯はまとめて洗う	6 kwh	2	130
使い終わったら温水洗浄便座のフタを閉じる	49 kwh	20	1,070
上記の取組を合計して	709 kwh	287	15,600

### 家庭におけるガス使用量の削減メニュー

本計画の家庭における目標である「エネルギー使用量の 10%削減」のうち、都市ガス使用量については年間約 29m<sup>3</sup> の削減が目安になります。表 5 は、表 3 に示した県民の取組メニューから比較的容易に取り組むことができるガスの使用に関する取組をまとめ直したものであり、これらの取組を合計すると約 74m<sup>3</sup> の削減となります。

例示した取組、削減効果等を参考として、各家庭において実行可能な取組を適切に選択し、具体的な行動に移してください。

表5 家庭におけるガス使用量の削減メニュー

県民の取組メニュー	1年間の削減・節約の目安		
	ガス使用量	kg-CO <sub>2</sub>	円
火力は鍋底から火がはみ出さない程度に調節する	2 m <sup>3</sup>	5	370
洗ものをする時の給湯器の設定温度を2 下げる	9 m <sup>3</sup>	19	1,310
シャワーの使用時間を1日1分短縮する	24 m <sup>3</sup>	51	3,580
お風呂はお湯が温かいうちに続けて入る	38 m <sup>3</sup>	81	5,690
上記の取組を合計して	74 m <sup>3</sup>	155	10,960

自家用自動車の燃料使用量の削減メニュー

本計画の家庭における目標である「自家用自動車1台当たりの燃料使用量の10%削減」については、年間ガソリンを約100ℓ削減することが目安になります。表6は、表3に示した県民の取組メニューから比較的容易に取り組むことができる自家用自動車の利用、エコドライブに関する取組をまとめ直したものであり、これらの取組を合計すると約140ℓのガソリンの削減となります。

例示した取組、削減効果等を参考として、各家庭において実行可能な取組を適切に選択し、具体的な行動に移してください。

表6 自家用自動車の燃料使用量の削減メニュー

県民の取組メニュー	1年間の削減・節約の目安		
	ガソリン使用量	kg-CO <sub>2</sub>	円
自動車に乗らないで公共交通機関で移動する	60 ℓ	144	7,310
1週間に1回往復8kmの車の運転をひかえる	39 ℓ	93	4,700
停車中はこまめにエンジンを切る	16 ℓ	39	1,970
空ぶかしをやめる	12 ℓ	29	1,450
急発進、急加速をしない	28 ℓ	67	3,390
タイヤの空気圧の調整などの点検をする	15 ℓ	36	1,820
無駄な荷物を積んだまま運転しない	2 ℓ	4	180
上記の取組を合計して	172 ℓ	409	20,820

(2) 民生部門業務系

目標達成計画による削減

目標達成計画に基づく民生部門業務系の地球温暖化対策・施策及び本県の二酸化炭素削減量は、表7のとおりです。目標達成計画に掲げられた各種対策・施策を本県において確実に実施することにより、1,587千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます(目標達成計画の実施率は70%を想定)。

また、電力の使用に伴う二酸化炭素排出係数の低減により、767千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます。

目標の達成による削減

目標達成計画に盛り込まれた対策・施策に加え、オフィス、店舗などの事務所等の施設において、原単位による目標である床面積当たりのエネルギー使用量を基準年から5%削減することにより、さらに348千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます。

表7 目標達成計画に基づく民生部門業務系における対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
省エネルギー法によるエネルギー管理の徹底(民生業務)	民生業務全般	102
建築物の省エネ性能の向上	民生業務全般	798
BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)の普及	民生業務全般	265
トップランナー基準による機器の効率向上	民生業務全般	326
省エネ機器の買換え促進	民生業務全般	13
高効率給湯器の普及	民生業務全般	12
業務用高効率空調機の普及	民生業務全般	14
業務用省エネ型冷蔵・冷凍機の普及	小売店、飲食店等	20
高効率照明の普及(LED照明)	民生業務	38
目標達成計画に基づく民生部門業務系の二酸化炭素削減量		1,587

### (3) 運輸部門(事業系)

#### 運輸部門貨物自動車における削減シナリオ

##### 目標達成計画による削減

目標達成計画に基づく運輸部門貨物自動車の地球温暖化対策・施策及び本県の二酸化炭素削減量は、表8のとおりです。目標達成計画に掲げられた各種対策・施策を本県において確実に実施することにより、676千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます(目標達成計画の実施率は70%を想定)。

表8 目標達成計画に基づく運輸部門貨物自動車における対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
環境に配慮した自動車使用の促進 (エコドライブの普及促進等による自動車運送事業等のグリーン化)	運輸自動車貨物	37
環境に配慮した自動車使用の促進 (アイドリングストップ車導入支援)	運輸自動車	6
自動車交通需要の調整	運輸自動車	3
高度道路交通システム(ITS)の推進(ETC)	運輸自動車	2
高度道路交通システム(ITS)の推進(VICS)	運輸自動車	20
路上工事の縮減	運輸自動車	4
交通安全施設の整備	運輸自動車	14
トラック輸送の効率化(車両の大型化)	運輸自動車貨物	104
トラック輸送の効率化(営自転換)	運輸自動車貨物	78
トラック輸送の効率化(積載率向上)	運輸自動車貨物	24
国際貨物の陸上輸送距離の削減	運輸自動車貨物	126
トップランナー基準による自動車の燃費改善	運輸自動車	173
クリーンエネルギー自動車の普及促進	運輸自動車	31
高速道路での大型トラックの最高速度の抑制	運輸自動車貨物	22
サルファーフリー燃料の導入及び対応自動車の導入	運輸自動車貨物	34
目標達成計画に基づく運輸部門貨物自動車の二酸化炭素削減量		676

##### 目標の達成による削減

目標達成計画に盛り込まれた対策・施策に加え、貨物自動車の原単位による目標である1台当たりの燃料使用量を2002年から5%削減することにより、さらに184千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます。

### その他の運輸部門（事業系）の削減シナリオ

その他の運輸部門（鉄道、船舶及び航空）における地球温暖化対策・施策及び本県の二酸化炭素削減量は、表 9 のとおりです。目標達成計画に掲げられた各種対策・施策を本県において確実に実施することにより、72 千 t-CO<sub>2</sub> の削減が見込まれます（目標達成計画の実施率は 50% を想定）。

表 9 目標達成計画に基づくその他の運輸部門における対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
テレワーク等情報通信を活用した交通代替の推進	運輸鉄道	3
	運輸航空	2
海運グリーン化総合対策	運輸船舶	25
鉄道貨物へのモーダルシフト	運輸鉄道	22
鉄道のエネルギー消費効率の向上	運輸鉄道	15
航空のエネルギー消費効率の向上	運輸航空	5
目標達成計画に基づくその他の運輸部門の二酸化炭素削減量		72

### (4) 産業部門

#### 製造業における削減シナリオ

##### 目標達成計画による削減

目標達成計画に基づく産業部門（製造業）の地球温暖化対策・施策及び本県の二酸化炭素削減量は、表 10 のとおりです。目標達成計画に掲げられた各種対策・施策を本県において確実に実施することにより、1,495 千 t-CO<sub>2</sub> の削減が見込まれます（目標達成計画の実施率は 100% を想定）。

表 10 目標達成計画に基づく産業部門（製造業）における対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
複数事業者の連携による省エネルギー	製造業全般	135
	鉄鋼業	375
自主行動計画の着実な実施とフォローアップ	化学工業	356
	石油・石炭製品	36
	上記 3 業種以外	451
省エネルギー法によるエネルギー管理の徹底	製造業全般	63
高性能工業炉の導入促進	製造業全般	48
高性能ボイラーの普及	製造業全般	31
目標達成計画に基づく産業部門製造業の二酸化炭素削減量		1,495

産業界においては、地球温暖化防止に向けた自主的取組として、1997 年 6 月に経済団体連合会環境自主行動計画を策定し、「2010 年の二酸化炭素排出量を 1990 年比 ±0% 以下に抑制する」ことを目標として掲げています。この環境自主行動計画は、目標の設定、目標達成に向けた取組、取組の進捗状況の定期的なフォローアップ、インターネット等を通じたフォローアップ結果の公表という 4 つのステップを毎年繰り返すことで、継続的な改善を図り、目標の

未達成を事前に防ぐことができる仕組みをとっています。

こうした産業界の取組は目標達成計画に盛り込まれており、製造業に係る削減量の大部分は、自主行動計画を中心とした地球温暖化対策の確実な実施によって達成されるため、第一に計画の進捗状況をフォローアップしつつ、各事業者の自主的取組を促していくこととします。

#### 目標の達成による削減

目標達成計画に盛り込まれた対策・施策に加え、化学工業、石油・石炭製品及び鉄鋼業以外の製造業においては原単位による目標である二酸化炭素排出原単位を 2002 年から 10%削減することにより、さらに 583 千 t-CO<sub>2</sub> の削減が見込まれます。

なお、環境自主行動計画における産業界の目標である「2010 年の二酸化炭素排出量を 1990 年比±0%以下に抑制する」ためには、700 千 t-CO<sub>2</sub> の削減を図る必要があることから、本県における多量排出事業者である化学工業、石油精製業及び鉄鋼業をはじめとした各事業者は、自主行動計画の達成に止まらず、さらなる独自の追加対策の実施によって可能な限り二酸化炭素の排出削減を図るよう努める必要があります。

#### その他の産業部門の削減シナリオ

その他の産業部門においては、近年の二酸化炭素排出量の推移を踏まえると、2010 年において特段の対策をとらない場合においても 462 千 t-CO<sub>2</sub> 排出削減が見込まれています。また、建設業において目標達成計画に基づく地球温暖化対策・施策の確実な実施により 63 千 t-CO<sub>2</sub> の排出削減（「混合セメント」による削減量を建設業に計上）が見込まれます（目標達成計画の実施率は 100%を想定）。

このため、製造業以外のその他の産業部門における二酸化炭素削減量は、各事業者の自主的取組を促進することにより達成を図ることとします。

表 11 目標達成計画に基づく製造業以外の産業部門における対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
建設施工分野における低燃費型建設機械の普及	産業建設	10
混合セメントの利用拡大	工業プロセス	53
目標達成計画に基づく製造業以外の産業部門の二酸化炭素削減量		63

#### (5) その他（産業廃棄物）

目標達成計画に掲げられた産業廃棄物の焼却に由来する二酸化炭素排出削減対策を本県において確実に実施することにより、223 千 t-CO<sub>2</sub> の削減が見込まれます。



## 2. 二酸化炭素以外の温室効果ガス削減シナリオ

二酸化炭素以外の温室効果ガスに係る削減シナリオを、以下のように設定します。

### (1) メタン・一酸化二窒素

目標達成計画に基づくメタン・一酸化二窒素に係る地球温暖化対策・施策を本県において確実に実施することにより、103千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます。

表12 目標達成計画に基づくメタン・一酸化二窒素に係る対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
メタン廃棄物の最終処分量の削減等(一般廃棄物)	廃棄物他	8
メタン廃棄物の最終処分量の削減等(産業廃棄物)	廃棄物他	12
下水汚泥焼却施設における燃焼の高度化	廃棄物他	74
一般廃棄物焼却施設における燃焼の高度化等	廃棄物他	10
目標達成計画に基づくメタン・一酸化二窒素の削減量		103

### (2) 代替フロン等3ガス

目標達成計画に基づく代替フロン等3ガスに係る地球温暖化対策・施策を本県において確実に実施することにより、401千t-CO<sub>2</sub>の削減が見込まれます。

表13 目標達成計画に基づく代替フロン等3ガスに係る対策・施策及び削減量

京都議定書目標達成計画における対策・施策	対象部門・業種	千葉県の削減量 (千t-CO <sub>2</sub> )
冷媒として機器に充てんされたHFCの回収等(カーエアコン)	代替フロン	132
冷媒として機器に充てんされたHFCの回収等(業務用冷凍空調機)	代替フロン	200
冷媒として機器に充てんされたHFCの回収等(補充用)	代替フロン	69
目標達成計画に基づく代替フロン等3ガスの削減量		401

## 3. 新エネルギーの導入、バイオマスの利活用

新エネルギーの導入、バイオマスの利活用による温室効果ガス排出削減については、別途策定に向けて検討が進められている「千葉県新エネルギー産業の集積促進に向けたプラン(仮称)」における2010年の新エネルギー等の導入目標と整合を図ることとし、県内において250千t-CO<sub>2</sub>の削減を見込みます。具体的なエネルギー種別の削減量は、太陽光発電44千t-CO<sub>2</sub>、風力発電57千t-CO<sub>2</sub>、太陽熱利用12千t-CO<sub>2</sub>、バイオマス発電11千t-CO<sub>2</sub>、バイオマス熱利用128千t-CO<sub>2</sub>をそれぞれ見込んでいます。

## 4. 二酸化炭素吸収源の確保

二酸化炭素吸収源については、直近のデータを勘案して適正な管理が行われるという状態で再算定を実施したところ、純吸収量として89,288t-C (=327千t-CO<sub>2</sub>)が見込まれることとなりました。さらに、本県の緑化等による吸収量をあわせて336千t-CO<sub>2</sub>を確保します。